

汎用的教育コンテンツ利用実績紹介フォーム

1.利用情報

教育機関名	新潟経営大学
学部・学科名	経営情報学部 経営情報学科
コース名・講座名等	情報ネットワーク論
対象学年・受講者数	2 年次 21 名 (講座等の履修登録者数を記載してください)
講座実施期間	2014年 10月 ~ 2015年1月
利用コンテンツ名 (該当□をプルダウンで■にしてください)	<input type="checkbox"/> プロジェクト型システム開発チーム演習教育コンテンツ
	<input type="checkbox"/> パーソナルスキル(ロジカルシンキング)養成教育コンテンツ
	<input type="checkbox"/> ソフトウェア開発技法実践的演習教育コンテンツ
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報セキュリティ実践的教育コンテンツ
	<input type="checkbox"/> 「要求工学を活用した問題発見と情報システムによる解決」実践的教育コンテンツ
コンテンツの利用形態 (該当□をプルダウンで■にし、必要事項をご記入ください)	1.利用したコンテンツ
	<input type="checkbox"/> ①シラバス
	<input checked="" type="checkbox"/> ②講義スライド
	<input checked="" type="checkbox"/> ③講義ノート
	<input type="checkbox"/> ④演習課題
	<input type="checkbox"/> ⑤各種設計書
	<input type="checkbox"/> ⑥テスト問題と解答例
	<input type="checkbox"/> ⑦ティーチングガイド
	<input type="checkbox"/> ⑧受講レポート
	<input type="checkbox"/> ⑨ソースコード
	2.コンテンツの利用方法について
	<input type="checkbox"/> 1.教育コンテンツ全てをそのまま利用
	<input checked="" type="checkbox"/> 2.教育コンテンツの一部をそのまま利用
	(利用範囲) セキュリティのセクション2コマ分において本教材を使用
	<input type="checkbox"/> 3.教育コンテンツを改変して利用
(改変範囲)	

講座の全体構成(シラバス) ※单元ごとの学習項目、講義形態、コンテンツ利用の有無を記す			
单元と時間配分(1コマ= 90 分で実施)		プルダウンで該当項目を選択してください	
*短期集中講座の場合は、日単位で結構です		講義形態 (座学、個人演習、チーム演習)	单元でのコンテンツ利用の有無
1	ガイダンス	座学	無
2	ネットワークアーキテクチャ	座学	無
3	アナログ通信とデジタル通信	座学	無
4	コンピュータネットワーク	座学	無
5	インターネット(1)	座学	無
6	インターネット(2)	座学	無
7	第一回中テスト	座学	無
8	LAN(1)	座学	無
9	LAN(2)	座学	無
10	ブロードバンド通信	座学	無
11	モバイル通信	座学	無
12	誤り制御	座学	無
13	情報セキュリティの要素技術	座学	有
14	第二回中テスト	座学	無
15	ファイアーウォール	座学	有
特記事項			

コンテンツ利用の狙い・目的	昨今の時流から情報ネットワークとセキュリティは切っても切れない関係にあり、情報ネットワークという授業においてセキュリティに触れないわけにはいかなくなっている。そこで、授業におけるセキュリティのセクションにおいて本教材を採用した。
講座の位置づけ 学生の履修前提条件	インターネットに代表される情報通信ネットワークに関して、ネットワークが情報社会のインフラとして円滑に機能するためのしくみとその利用法に関するコンピューティング技術の基礎知識について学ぶ。
授業の進め方	授業の大半を情報ネットワークの技術的側面について説明し(上記、シラバス参照)、最後の2コマでセキュリティを解説する段階において、本教材を使用した。

2. 講座実施後の情報

受講者の感想 (本講座で得られたもの)	授業アンケートでは、総合的に「良い」12名、「どちらかといえば良い」6名という評価をいただいた。しかし、自由記述欄における記述はなかったため、感想は不明である。
教員の評価	今回は「情報セキュリティの要素技術」と「ファイアーウォール」を使用した。このスライドはよくできており(絵の構成等)、教員側としても説明し易かった。学生にとっても見てわかり易かったと思う。
今後の展望 (継続に向けた課題)	情報セキュリティは日々社会における重要性が増してきている。授業としての情報ネットワークを教えるにあたり、今後その比重を高めていく必要がある。今回は2コマ分だけを使用したけど、次回からはもっと多くの教材を投入していく計画である。